

# くねっふ 議会だより

本町がめざす学校教育の基本は  
一般質問 …………… ④ページ

184号



—訓子府消防団出初式—  
今年で発足100年目を迎える  
訓子府消防団

も	12月定例会で審議した議案 ……………	②ページ
く	平成25年度各会計の決算を認定 ……………	⑪ページ
じ	所管事務調査を実施 ……………	⑬ページ
	議会の主なうごき／あとがき ……………	⑭ページ

平成26年 12月 定例会

12月9日～10日まで

# 一般会計2,085万円を補正

平成26年度各会計補正予算については、原案のとおり可決されました。

## 一般会計(第8号)

歳入歳出予算に2,085万8千円を追加し、総額を43億351万8千円としました。

### ■主な歳出内容

- 社会保障・税番号制度整備事業(委託料、負担金)  
980万9千円を計上
- 福祉灯油助成 460万円を計上
- 旧端野処理場解体事業費負担金  
250万1千円を計上
- 下水道事業特別会計繰出金  
340万円を減額

## 後期高齢者医療会計(第2号)

歳入歳出予算に16万5千円を追加し、総額を7,132万4千円としました。

### ■主な歳出内容

- 保険料過誤納還付金 15万円を追加
- 還付加算金 1万5千円を追加

## 介護保険会計(第2号)

歳入歳出予算に331万4千円を追加し、総額を4億9,317万7千円としました。

### ■主な歳出内容

- 介護保険システム改修業務(委託料)  
328万4千円を計上

## 下水道事業会計(第1号)

歳入歳出予算から1,221万円を減額し、総額を2億1,909万円としました。

### ■主な歳出内容

- 個別排水処理浄化槽設置工事  
1,085万6千円を減額

## 水道事業会計(第3号)

収益的支出に110万円を追加し、総額を1億6,142万1千円としました。

### ■主な歳出内容

- 原水及び浄水費(修繕費)  
110万円を追加

## 議長宛ての文書の送付は議会事務局へ

議長宛ての文書を送付する際は、議長の自宅ではなく議会事務局まで送付くださいますようお願いいたします。

送付先 〒099-1498 訓子府町東町398番地 訓子府町議会事務局 問合せ先 ☎0157-47-2184



## 条例の制定等

◆重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正

原案可決

母子及び寡婦福祉法の改正に伴い、条例を改正しました。

◆町立幼稚園保育料等徴収条例の一部改正

原案可決

母子及び寡婦福祉法の改正に伴い、条例を改正しました。

◆町営住宅管理条例の一部改正

原案可決

引用法律名の変更に伴い、条例を改正しました。

◆国民健康保険条例の一部改正

原案可決

健康保険法施行令等の改正に伴い、条例を改正しました。

◆債権の放棄

原案可決

破産法による債務者の免責許可が決定し、破産債権の一部が免責となったため、牧場使用料に係る債権の放棄を議決しました。

○債務者 (株)安愚楽

○債権金額 138

万2,811円

◆議会の権限に属する軽易な事項の指定について

決定

町長において専決処分することができる事

項に指定しました。

○議会の議決を経た工事又は製造の請負契約について、契約金額をその5%を超えない範囲で変更すること。ただし、その金額は300万円以内とすること。

## 報告

□出納検査結果報告

報告了承  
監査委員から10月から12月までの一般会計、特別会計及び水道事業会計について例月出納検査を実施した結果、出納事務は適法に行われ、異状ないとの報告がありました。



## 平成26年第4回臨時会(11月28日)

第4回臨時会を11月28日に開催し、職員の給与条例等の改正、各会計補正予算などについて審議を行い、いずれも原案のとおり可決されました。

### [議案]

#### ◆条例の制定等

- 職員の給与条例等の一部改正
- 町長、副町長及び教育長の給与条例の一部改正
- 議員報酬及び費用弁償等の条例の一部改正 ほか

#### ◆各会計補正予算

##### 一般会計(第7号)

- 給与費(職員手当等)等…………… 総額 508万円を追加

##### 水道事業会計(第2号)

- 総係費(手当)…………… 22万3千円を追加

人事院勧告に基づいた国家公務員の給与改定に準じて、職員の期末・勤勉手当、町長・副町長・教育長及び議員の期末手当の支給月数を年間3.95月から4.2月に改正しました。

# 一般質問

7名の議員が町長、教育長に一般質問を行いました。

## 本町がめざす学校教育の基本は

教育長 ▼ 生きる基礎を確立し人間力の向上を図る



佐藤 議員

**佐藤** 本町のめざす子どもたちの学校教育の基本とするものは何か。  
**教育長** 今日の社会はあらゆる価値観が多様化している時代背景の中で、いつの時代も、教育の基本は「人づくり」であります。

学校は、子どもたちの生き方や、将来像の基盤づくりの場であり、心身ともに安心して学べる場所が学校と認識しています。

**佐藤** 本町の学校においては、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るとともに、一人ひとりの良さや、可能性を伸ばし「人間力」の向上をめざしていきます。

のため、居武士小学校の統合について行政側としての考え方は。

**教育長** 居武士小学校については、地域に根差した恵まれた環境の中で、きめ細かな教育を受けていると認識しています。

一方で小規模校ゆえに、集団的な学習や同学年どうしの成長が少ないなどの、心の育みがやや心配だという声も聞いています。そのため訓子府小学校との交流授業の回数を増やし、内容の充実を図るなど課題を解決して少人数教育の振興に力を尽くしていく考えです。

現在、保護者が中心となり、将来の居武士小学校について話し合いを進めていると聞いていますので、その協議の結果として地域ぐるみで、あるいは教育に責任を持つ父母の「統合が望ましい」という意見が多数の場合には、その要望に沿った方向で行政及び教育委員会として検討します。現時点では、行政の方から統合問題について、住民の皆さんに申し上げる段階ではないと考えています。

## 少年団活動の指導者の確保は

教育長 ▼ 指導者確保には苦慮、養成に努める

**佐藤** 少年団活動でも人気の高い「水泳少年団」が、今後の指導者の確保に見通しがたないため、活動を停止したと聞くが、今後の対応はどうなるのか。

**教育長** 現団員の保護者世帯の82%が、何らかの水泳活動の継続を希望しています。教育委員会としては、水泳の特性を生かした体力増進や健全育成、温水プールの有効利用の観点から、今後は少年団の保護者と連携して、指導者の確保と活

本町に限らず指導者の確保は全国的な課題であり、今後も教育委員会単独事業で、指導者の養成や資質の向上を図ります。



地域の人も一緒に楽しむ居小運動会

# 次期町長選挙出馬の考えは

町長 ▼ 前向きに考えていきたい



小林 議員

**小林** 平成27年4月

には、統一地方選挙が実施されますが、次期も町長として町政に参画するために、町長選挙に出馬の考えがあるのか、あれば伺いたい。

**町長** 平成19年5月

以来、2期8年にわたり町民の皆さま、議員各位のお力添えをいただきこれまで町政を担ってきました。

1期目では、九つの緊急提言と二つの約束を元気の出るマニフェストに掲げ、各分野にわたって訓子府の元気づくりに取り組み、2期目の今期は、みんな

で創る「訓子府の元気」

町民にやさしいまちづくりをめざして、新しい「七つの約束」を掲げその実現に努めてきたところです。

これらの実績につきましては、改めて総括をさせていただきたいと考えていますが、まだ道半ばの施策、あるいは、このたび12月14日執行の第47回衆議院議員総選挙などの結果も踏まえ、新たな

課題や施策も見据えた

中で次期出馬につきましては、町民の皆さまや後援会の皆さまとも相談しながら、前向きに考えていきます。

残された任期も5カ月足らずとなりましたが、町政の課題解決と町民の福祉向上のため全力を投じていきますので、引き続き、ご理解とお力添えをお願いいたします。

## 除雪作業の安全対策は

町長 ▼ 万全を期すよう指導している

**小林** 冬期における除雪作業の安全対策は万全なのか伺いたい。

**町長** 特に視界の悪い専用車、ダンプ、大型

行っています。

建物や人、通行車両などの付近は減速し、プラウを浮かしたり、場合によっては停車するなど、安全対策に万全を期すよう指導しています。

また、他の除雪機械についても、吹雪などによる視界不良時など必要に応じ補助者を同乗させ、民間委託の路線も契約時に安全対策に万全を期すよう指導しています。

除雪機械は大型でありますので、万一、事故を起こした場合には大事に至る可能性が高いため、シーズン始めに実施している除雪作業打ち合わせ会議の際には出勤前夜における体調管理には万全を期すことと、作業上の注意点や安全対策についての意見交換をし、情報共有を図っています。除雪出動前の朝礼の

際には、運転手や補助者に対し、一連の安全対策について指導、注意喚起を行っているところでありますが、細心の注意をはらっても現実的には接触事故が起きております。

これで十分といった事故防止対策はありませんが、少なくとも慣れからくる油断による事故が起きないように、注意しながら作業にあたっていきます。



大雪時の除雪作業

# 福祉優先の町として残された課題は何か

町長 ▼ 「共に支えあうまちづくり」を築く



西山 議員

西山 町長はこの8年間、七つの約束を町民に示し、さまざまな施策

策を執行してきました。町民との対話によって、行政サービスにどう反映してきたか。

町長 私は町長就任以来「町民こそが主役」で「町民福祉の増進を図る」という基本理念

実現のために「まちづくり委員会」や2期目の「まちづくり推進会議」を常設し、現在までに9回の会議を重ねています。

また夜間町長室は、8年間で85回、来庁者170名、相談件数は126件になります。

ふるさと懇談会から車座トーク、老人クラブ訪問やひとり暮らし高齢者宅への「おじやまします訪問」など、さまざまな形で広聴活動を推進しています。それらを通して、町民や職員のまちづくりに積極的に参加する意識が高まってきていると感じています。

西山 福祉優先の町として残された課題は。

町長 「町民にやさし

いまちづくり」のため「共に支えあうまちづくり」を築くことが理想ですが、次々と生まれてくる問題に向かって、糸をほぐすように選択しながら進めることが課題です。

西山 「子育てしやすい町」としてのPRは。

町長 「ゆめゆめ館」や「くんねつぷこども園」などハード面では

ひとつの到達点かも知れませんが、ソフト面も積極的に充実させ、アピールしていきます。西山 これからの町政への優先的課題は何か。町長 基幹産業の農業を守り、育て、発展させることと、大型店舗の出店が決まり、経営環境が大きく転換する中、即効性のある商工業の振興施策が求められています。

# 経済的格差による、児童生徒への影響は

教育長 ▼ 就学困難な方々へ支援をしたい

西山 本町の子育て支援体制の充実について伺います。

来年4月からスタートする「子ども・子育て支援新制度」への本町の取り組みは。

教育長 新制度への移行に向け「訓子府町子ども・子育て会議」を設置し、事業計画の中の保育量や保育方法、地域子ども子育て支援事業などの具体的内容を検討しています。

西山 保護者の経済的格差による児童生徒への影響と、本町の就学援助や奨学資金貸付の申請状況は。

教育長 本町における就学援助制度の平成26年度の申請は、小学校で38世帯あり、所得要件を超えた1世帯

を除く37世帯（小学生35名、中学生18名）です。

奨学資金貸付制度は8名の申請がありました。（高校は月額1万5千円、大学・短大は3万円）

それぞれの実施に当たっては、広報誌や学校を通じてチラシを配布して周知を行い、今後も経済的理由で就学困難な方々への支援に努めます。

西山 教育相談体制は。教育長 教育に係る相談には教師が基本ですが、本年度から生涯学習アドバイザーを配置し、さまざまな教育相談の対応を進めています。

地域をきく車座トーク



地域をきく車座トーク

# 28年1月から番号法の運用が始まるが

町長 ▼ 国レベルで国民の理解深めるべき



上原議員

統括は総務課とし全庁的調整を図るが、番号通知に向け町民への事前周知が必要と考えています。

**上原** 個人情報の取り扱いは。

**町長** 情報の持ち主がそれぞれ管理する分散

**上原** 番号法（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律）の運用にあたり、町の対応として町民への周知の取り組みは。

**上原** 職員の意識改革の必要性和本町での独自利用は。

管理方式とし、相互に提供し合う情報提供ネットワークシステムを構築することになり、漏えいの事件・事故防止のため一元管理は行わないこととなります。

**町長** 係長の連絡調整会議と三つのワーキンググループを中心にして理解を深め、役場内組織で作業と検討を進めているが、独自利用は条例の規定が必要となり議会のチェックを受け

国レベルで番号制の内容について、積極的に国民に理解を深めることが重要です。

**上原** 事業計画遂行は、国・道の補助金である特定財源、特定目的基金からの繰り入れや地方債借入れを予定していますが、国は三位一体改革以降、特定目的補助金の廃止・削減、基金などを活用したモデル的事業補助金

創設などへの転換をしています。北海道は財政悪化に伴い地方振興施策が変貌しており、情報収集に努め省庁などへの要請活動を行っています。中期財政推計では、静寿園増築支援・子ども園建設・スポーツセンター耐震・図書館増築・第4期農地整備事業や建設単価高騰と合わせ、70億円弱の事業を計画しています。バランスの取れた効

率的で健全な財政運営に努めていきます。

## ※二口メモ

### 番号制度とは

一人一つの番号を付番することで、複数の機関に存在する個人情報が一人的に管理されることを確認するための基盤で、効率性・透明性・利便性を高めるため、社会保障・税・災害対策の各分野で導入されます。

## 事業計画遂行と財政安定への取り組みは

町長 ▼ 特定財源確保を前提として

**上原** 国が政策転換のなか、町の事業計画遂行にあたり国・道の補助金取り込みが財政安

定の大きな課題だと思いが、その施策は。

**町長** 財政健全化戦略プラン策定により、25



耐震診断が行われているスポーツセンター

# 店舗改修事業の取り組みの状況は

町長 ▼ 執行率は100%に近い数値になる



工藤 議員

**工藤** 今年度から5カ年の事業期間を予定した店舗改修事業が始まったが、現在までの取り組みの状況は。

**町長** 12月5日現在で事業実施中を含め合計7件、総事業費662万1,890円、補



店舗照明をLEDに改修

**工藤** この事業に対する

助交付額では304万3千円となっています。現在、問い合わせが1件ありますので、年度末には予算400万円に対する執行率は100%に近い数値になると思います。

業種別では、建設業1件、飲食業1件、小売業2件、サービス業3件の合計7件となっています。

る商工業者の反応・評価をどのように捉えているか。

**町長** 事業実施状況から判断すると、執行率が示すように反応は良いと評価しています。来年オープン予定のスーパーやホームセンター進出に伴い、集客

## 創成会議提言から 法案可決までの見解は

**町長** ▼ 拠点都市への機能の集約化を危惧

**工藤** 日本創成会議の提言から「地方創生」「まち・ひと・しごと創生法案」可決までの流れに対しての見解は。

**町長** 日本創成会議が提案する主な政策手段は「地方中核都市」に資源や政策を集中的に投入し、平成の大合併

力が低下する店だけでなく集客力がある店についても、改修事業の必要性が高まってくるかと捉えています。

街全体の明るさや住みよいまちの形成には、商店街の活性化が不可欠と認識しています。

店舗出店支援制度も含め商工会、商店街協同組合と十分協議しながら中長期的振興策を図っていきます。

から始まる広域行政化と行政改革の継続です。道州制度への布石であり「自治体消滅」という強い言葉で自主自律の気概を失わせ、市町村を消滅させる動きではないかと感じています。

「地方創生」施策が

過疎地域からの撤退と拠点都市への自治体機能の集約化を図るものではないかと危惧しています。

**工藤** これからのまちづくり「地方創生」論がどう関わってくるかと考えているのか。

**町長** 今後示される「北海道まち・ひと・しごと創生総合戦略」や市町村創生総合戦略策定要領などを勘案し、議会とも協議しながら計画策定に向け検討していきます。

**工藤** 「まちづくり基本条例」や「住民自治基本条例」のようなものが必要にならないか。

**町長** 今期での条例策定は難しいと思っています。

住民本位、住民主体のまちづくりが基本ですので、今後に向けては必要になると考えています。

## 一般質問の記事掲載について

一般質問の記事については、一質問者につき二問までを掲載し、内容を要約しています。

その他の質問事項や詳しい内容については、会議録をご覧ください。

会議録は図書館に備えてあります。また、町ホームページ(<http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/>)にも掲載しております。

なお、会議録公開については、議会終了後3カ月程度の期間を要します。



# 地場産業としての甘草栽培は

かんぞう

町長 ▼ 栽培普及などの動きがあれば支援を



余湖 議員

**余湖** 町内で行われている甘草栽培については将来有望な地場産業としての可能性を感じますが、どのように思いますか。

**町長** 有限責任組合「銀河の路」で実施している甘草栽培につきましては平成22年の元気なまちづくり総合補助金に申請された「自然生態系肥料栽培安全・安心農産物普及事業」のなかで栽培試験・成分分析を行い、普及や農業観光、健康食品開発などの事業化を検討していました。希少種の甘草の栽培

と薬品・健康食品などへ活用することは先駆的な取り組みであり大きな期待をしていたところですが。

現在の状況は詳細には把握していませんが露地での栽培期間の短縮の可能性があることや大手企業と連携することが報道されていますので、独自の健康食品開発、町内農業者への栽培普及などの動きがあれば支援策を検討していきたいと思

います。

**余湖** 人口増に大切な「住んでもらえる人」を増やすことの必要性についてどう思いますか。

**町長** 平成52年には平成22年と比較し、訓子府町では42・9%の人

口減少で3、105人と予想されています。

定住人口の減少は経済分野では消費購買力が低下することによる

商業環境が大きく変化することや、行政分野では国民健康保険、介護保険などの保険事業の負担増、町税収入等の減少に加え、人口を基準に算定される地方交付税の減少など財政規模の縮小、さらに若年、生産年齢人口の減少は町の活力を大きく低下させることが考えられます。

ま

ちの経済、教育、福祉などの基盤を崩さないためにも定住人口の減少緩和が必要であり、そのために新しい住民を増やすことは最重要課題と考えています。

課

**余湖** 日出地区への土地分譲の必要性についてどう思いますか。

**町長** 日出地域につきましては通過型集落であり、平成10年から12年に町で造成・分譲した「あさひの団地」は町外からの購入者が20件を数え、北見市への通勤者も多く居住していることなど北見市への通勤圏としての需

要はあると考えています。

そういった状況ではありますが、現在も分譲してはいます民間宅地に10間口程度の余裕があること、消費増税の反動や建設資材の価格高騰などから住宅建設市場が冷え込んでいるため、過度の土地分譲は現時点では難しいと判断しています。



日出地域の民間の分譲地

## 「議会だより」についてご意見をお寄せください。

議会に対するご意見や、議会だよりを見て感じたことなどどんなことでも結構です。

どうぞ議会事務局までご意見をお寄せください。

☎ 47-2184・FAX 47-2600 ✉ gikai@town.kunneppu.hokkaido.jp



# 町民の健康寿命を延ばす方策は

町長 ▼ 特定健診やがん検診、介護予防事業など



河端 議員

河端 高齢化が進み女性

の平均寿命は86・61歳と過去最高で世界一となり、反面、増大する国保会計や介護



昨年の健康まつり

保険会計への繰り入れなどの課題もあります。

健康寿命を延ばすための疾病予防、介護予防などの方策をどのように進めるか。

町長 健康寿命と平均

寿命の差は、男性で約9年、女性で約13年で介護などの手助けが必要な期間となり、これを減らすことが重要と考えています。

社会教育事業など多方面に及ぶが、保健行政の取り組みとしては、特定健診やがん検診、健康・栄養相談などの生活習慣病予防や、各種ワクチン接種などのほか、介護予防事業にも積極的に取り組んでいます。

河端 胃がんを引き起こすピロリ菌の検査を

実施する考えは。

町長 ピロリ菌感染者が必ずしも胃がんになるわけではないが、ピロリ菌感染による慢性胃炎が長く続くと、胃潰瘍、十二指腸潰瘍などの疾患が発症する可能性が高まり、一部の人が胃がんになるとも言われています。

現在、道において各市町村の実態調査を始めたところであり、町での実施については、検査体制の整備や検査結果による対処方法等もあり、国や道の支援も必要と考えております。今後、近隣市町村の動向を見ながら検討していきます。

河端 若い人の風疹の抗体検査などの考えは。

町長 妊娠中に風疹に

感染すると、胎児が白内障や先天性心疾患、難聴などになる可能性があり、道では今年度検査費用の助成を行う

ています。町としても、今後の風疹の流行状況や北海道の助成状況を注視し検討します。

## 社会教育の充実を どう進めるか

教育長 ▼ ライフステージに応じた学びの機会を

河端 高齢化社会になり、人生の終わりをどのように迎えるかは、誰もが抱く課題です。

そのためにも「社会参加を促し、生きがいづくり」をめざす社会教育の果たす役割は、ますます大きくなっています。今後どのように進めるか。

教育長 人々の価値観やライフスタイルの変化、少子高齢化など社会環境が大きく変化しています。

多様化・高度化する町民の学習ニーズに対応するため「公民館講座」「はぐくみ講座」

「男女共同参画講座」

などの開催や「わくわく地域づくり活動支援事業」により、団体・サークルの設立や活動の支援を図っています。

また、今年度の新規事業として、町内のさまざまな活動の実践発表の機会と社会参加の喚起をめざした「くねつぷの未来づくり大会」を2月に実施します。

今後もライフステージに応じた、さまざまな学びの機会を通じて社会参加の充実を図ります。

第4回定例会は、9名の傍聴がありました。

## 議会を傍聴してみませんか。

第1回定例会は3月上旬頃開催する予定です。

議会中の議場の様子を庁舎1階町民ホールにおいて、テレビでも放映しています。議会傍聴に関するお問い合わせは、議会事務局 ☎47-2184へ

### ※一口メモ

健康寿命とは健康上の問題がなく、介護などで人の手助けがなくても日常生活ができる平均期間です。

# 平成25年度 各会計の決算を認定

第3回定例会（平成26年9月9日）において、決算審査特別委員会（委員長・山本 朝英）に付託された「平成25年度訓子府町各会計決算」については、同年11月4日～10日の5日間にわたり、決算報告書などを審査した結果、6会計の決算はいずれも正当で認定すべきものとして本会議で報告があり、認定することに決定しました。

## 決算審査特別委員会委員長の「審査意見」

歳入では、町税及び使用料の収納状況に関し、これまでの職員の努力により収納率の向上がみられ、その成果が認められるところで

なお、自主財源の確保と税の公平性の原則からも、今後も収納率の維持に努力をお願いするところであり、滞納者の状況把握とあわせ、その生活実態に配慮した対応を望むものであります。さらに、公営住宅使用料などについては、住み替えなどの制度化や保証人制度の制度改正などを図り、滞納抑制の対策を求めるものであります。歳出では、「財政健

全化戦力プラン」に基づき、予算やその執行に対する成果が認められるところでは、

なお、予算の有効活用を図るため、住民サービスなどを含む各種の事業等については、町民への周知の工夫とさらにその成果を周知するなど、初期の目的が十分達せられるよう一層の努力を求めるものであります。体育施設の利用に関しては、利用の状況や住民ニーズ、さらには将来の姿を見据えた中で、複合的な利用も視野に総合的な検討を求めるものであります。各種施策の財源確保のため、国の政策と連動した町としての積極

的な展開を図る必要があり、そのためにも職員個々の能力を高めるなどの職員育成の努力を望むものであります。最後に、厳しい財政状況の中、財政健全化を図りながら住民サービス向上に向けた職員一人ひとりの努力は、十分に評価できるところです。今後においても、町民のための「まちづくり」に向け、創意、工夫と一層の努力をお願いします。

## 平成25年度 各会計決算額

(単位:円)

会 計 名	歳 入	歳 出	差 引 額	
一 般 会 計	4,556,849,688	4,297,279,296	259,570,392	
国民健康保険特別会計	961,649,945	925,992,287	35,657,658	
後期高齢者医療特別会計	72,173,062	72,113,962	59,100	
介護保険特別会計	422,188,346	417,171,411	5,016,935	
下水道事業特別会計	170,043,419	170,043,419	0	
<b>合 計</b>	<b>6,182,904,460</b>	<b>5,882,600,375</b>	<b>300,304,085</b>	
水道事業会計	収益的収支	173,811,245	137,566,711	36,244,534
	資本的収支	23,545,723	59,653,003	△ 36,107,280

## ひとことインタビュー

議会を傍聴された方に感想を聞いてみました。

◆議会を傍聴したきっかけは？

選挙の期日前投票に来て、議会中だと知りま

◆傍聴したのは何回目ですか？

2回目です。

◆傍聴した感想は？

議員さんたちが、町のことをすごく考えていることが大変よくわかりました。

これからの高齢者問題、町民生活が向上することを望みます。

## 議決した意見書

—議員提案により次の意見書案が提出され、原案のとおり可決し、政府関係機関に意見書を提出しました。—

### ◆国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める要望意見書

・国民健康保険に対する国庫負担を増額すること。

### ◆安全・安心の医療・介護の実現、医療・介護従事者の大幅増員と処遇改善を求める要望意見書

1. 国の公的責任を自治体・住民に転嫁した医療介護総合法について、自治体・住民に負担をかけない対策を国の責任として講じること。
2. 安心・安全な医療・介護を実現するため医師・看護師・介護職員を大幅に増やすこと。
3. 国民（患者・利用者）の自己負担を軽減し、必要な増員と処遇改善の財源が確保できる診療報酬・介護報酬に改善すること。

### ◆釧路地方裁判所北見支部における労働審判の実施を求める要望意見書

・釧路地方裁判所北見支部において、北見支部及び網走支部管内の住民、企業を対象とする労働審判事件の取り扱いを開始するとともに、必要な裁判官及び裁判所職員の増員並びに施設の整備を行うこと。

### ◆平成27年度畜産物価格決定等に関する要望意見書

・国民の基礎的食料の安定供給及び地域経済・社会を支える酪農・畜産の持続的な発展を図るため、現在の諸課題に対処した意欲の持てる畜産物価格等の決定及び適切な酪農・畜産政策の推進と予算確保を行うこと。

※要約して掲載

# 所管事務調査を実施

総務文教、産業建設の各常任委員会では、議会閉会中も所管事務調査などの調査活動を行っています。

## 総務文教常任委員会

□12月25日（木）

○老人クラブ連合会役員との意見交換会を実施しました。

老人クラブが抱えている問題や、冬期間の除雪について、高齢者の住宅政策について活発な意見が出されました。

（主な意見）

- ・移送サービスについて、実際には車に乗ることができないが、免許証と車を所有しているため、サービスが受けられない。実態にあった対応を。
- ・高齢者の独り暮らしでは、道路の除雪で残った雪の処理が大変である。除雪の際に配慮を。
- ・高齢者が増え、将来どうなるのか不安である。住み慣れた町に暮らし続けるため、高齢者の住宅政策を。
- ・町内会では、老人クラブへの加入者が減っている。老人クラブが町内会活動を支えている面もあり、行政も加入促進への支援を。

□1月29日（木）

○所管する事務について、担当者から説明を受け調査を実施しました。

（調査項目）

- ①まちづくり推進会議の開催状況
- ②車座トークの開催状況
- ③夜間町長室の開催状況
- ④訓小の空き教室の活用状況



## 北網ブロック町村議会議員研修会

「オホーツク圏の経済について」と題し平成26年度前期の経済情勢について北海道財務局北見出張所 佐々木 一郎所長より講演がありました。

○個人消費

消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が弱まり、緩やかな持ち直しの動きがみられる。

○公共事業

前払金保証請負金額（平成26年4月～6月）でみると前年度を上回っている。

○農業

平成26年8月1日現在の主要農作物の生育状況を見ると牧草（2番草）に遅れが見られたが、その他の主要農作物は、平年より早い生育状況になっている。

○金融

預金は、堅調に推移している。貸出金は、前年を下回っているが、設備資金及び地方公共団体向けは前年を上回っている。

○雇用

有効求職者数の減少幅が有効求人数の減少幅を上回ったため、有効求人倍率は前年を上回っている。

（安藤）

## 議会の主なうごき

### 11月

- 3日 功労者等顕彰式(全議員)
- 4~10日 決算審査特別委員会
- 5日 北網ブロック市・町議会正副議長会議(津別町:正副議長)
- 6~7日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会秋季要望(札幌市・東京都:議長)
- 9日 居武士小学校学芸会(議長、総文委員)
- 10日 才ホーツク町村議会議長会役員会(議長)
- 11日 武部新衆議院議員との懇談会(東京都:議長)
- 12日 町村議会議長全国大会(東京都:議長)
- 13日 東京訓子府倶楽部(東京都:議長)
- 15日 幼稚園発表会(議長)
- 17日 議会運営委員会  
全員協議会

### 12月

- 22日 訓子府小学校開校100周年記念式典・祝賀会(全議員)
- 23日 新穀感謝祭々々典(正副議長、産建委員長)
- 26日 議会運営委員会
- 27日 総務文教常任委員会
- 28日 第4回臨時会  
全員協議会  
産業建設常任委員会
- 29日 保育園遊戯会(副議長)
- 1日 くねつぶ静寿園増床記念セシモニー(全議員)
- 9~10日 第4回定例会
- 10日 議会広報特別委員会
- 15日 町有林野経営審議会(正副議長、産建委員長)
- 22日 議会広報特別委員会
- 25日 総務文教常任委員会(所管事務調査)  
北見消防組合議会(消防組合議員)

### 1月

- 5日 訓子府消防団出初式(全議員)
- 6日 公職者・団体代表者等新年交礼会(全議員)
- 7日 中央長寿会新年会(議長)
- 11日 成人式(全議員)
- 13日 全員協議会  
議会広報特別委員会
- 16日 議会広報特別委員会
- 17日 自衛隊父兄会訓子府支部総会(議長)
- 21日 ふれあい昼食会(議長)  
議会広報特別委員会
- 24日 未年会(議長)
- 26日 議会議員OB会新年会(議長)
- 28日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会緊急要望(東京都:議長)
- 29日 総務文教常任委員会(所管事務調査)
- 30日 全員協議会

## 委員会等の活動

### 議会運営委員会

□ 11月17日(月)  
○ 第4回定例会の提出議案の協議を行った。

□ 11月26日(水)  
○ 第4回臨時会及び第4回定例会の運営方法について協議を行った。

### 総務文教常任委員会

□ 11月27日(木)  
○ 第4回定例会における議案の審査を行った。

□ 12月25日(木)・1月29日(木)  
○ 所管事務調査を行った。

### 産業建設常任委員会

□ 11月28日(金)  
○ 第4回定例会における議案の審査を行った。

### 議会広報特別委員会

□ 12月10日(水)  
○ 「議会だより」第183号の問題提起、次号の掲載予定記事の確認を行った。

□ 12月22日(月)  
○ 第4回定例会での一般質問の原稿等を確認した。

□ 1月13日(火)・16日(金)・21日(水)  
○ 「議会だより」第184号の確認作業を行った。

### あとがき

未曾有の大惨事をもたらした東日本大震災が私の2期目のスタートと重なりました。いつも心に留め置きたいと思います。昨年12月に総選挙が実施されました。集团的自衛権、PPP、地方創生などどれも私たちにとって重要な課題であり、真摯な議論が求められます。私たちも残された期間町民の付託に答えられるよう緊張感を持って努力することが大切だと思います。議会広報特別委員会  
委員 工藤 弘喜

### 議会広報特別委員会

- |      |          |
|------|----------|
| 委員長  | 河端 芳 恵   |
| 副委員長 | 西山 由 美 子 |
| 委員   | 小林 一 甫   |
|      | 佐藤 静 基   |
|      | 安藤 義 昭   |
|      | 上原 豊 茂   |
|      | 工藤 弘 喜   |
|      | 山本 朝 英   |
|      | 余 湖 龍 三  |

議 長 橋 本 憲 治